コントロールのリファレンス

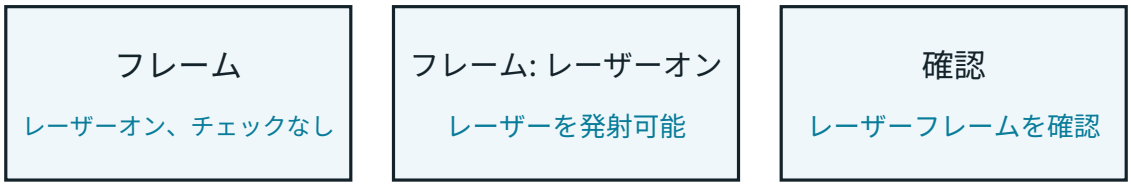
低出力レーザーオンのフレーミングを使う

発射フレーム、その追加確認、最後に確認するコントロールを理解します。

このガイドはAIで翻訳されています。重要な手順は英語の原文と照合してください。

レビュー範囲

記述式レビューのみです。**機械なし**を選択したまま、**未接続**の状態を維持してください。故障、発射、コントローラーの実行は必要ありません。任意のdemo-projectsにはコースの機械リンクが削除され、サンプルのデザインと設定だけが残されています。



レーザーオフが初心者向けのデフォルトです。低出力で発射する選択は、アートワークの加工出力とは別です。

1. これをコントロールのリファレンスとして使用してください。レビューに発射、フレーミング、接続状態での実行は必要ありません。

2. **「フレーム: レーザーオン」のチェックを外した状態**では、フレームはレッスンに示されているレーザーオフの選択です。

3. **「フレーム: レーザーオン」**にチェックを入れると、ボタンが**「フレーム: レーザーオン」**に変わります。この選択では低出力で発射でき、素材に跡が付くことがあります。

4. 発射する選択をすると、**レーザーフレームを確認**が表示されます。警告を読み、確認を期限までに行わないと、その確認操作はキャンセルされます。

5. デモでは、発射フレームにレーザーS 10と表示されます。これはコントローラーの表示例であり、普遍的な出力設定ではありません。

6. デモで示されたフレームの後、**アイドル**、**レーザーSがゼロ**、およびレーザーオンの選択が解除されていることを確認します。その後にフレームを実行する場合は、実際のコントロールを確認してください。

クイックレビュー

クイックレビュー

リファレンスを使って、発射できるフレーム、追加確認が表示される場所、最後に確認する状態を説明してください。フレーム: レーザーオンのチェックは外したままにしてください。

□ これらの質問に答えるためにレーザーを発射しないでください。

□ フレームはジョブの範囲に従います。アートワーク、原点、または出力対象を変更した場合は、もう一度配置を確認する必要があります。

初心者向けのデフォルトはどのフレームですか？

発射する選択には、どの追加確認が表示されますか？

その後、どの状態とコントロール値を確認する必要がありますか？

比較の意味を保つ

保存されたフィールドと、説明された理由を比較します。ファイルやソフトウェアの状態から、実際の機械を確認することはできません。

解説付き回答とファイル

解説付き回答とファイル

デフォルト
レーザーオンのチェックを外したフレームが、レーザーオフの初心者向けデフォルトです。

発射する選択
フレーム: レーザーオンでは、レーザーフレームを確認が使用されます。低出力でも素材に跡が付くことがあります。これはアートワークの加工出力とは別です。

終了状態の確認
アイドル、レーザーSがゼロ、レーザーオンの選択が解除された状態です。実際にフレームを実行する場合は、実際の機械でセットアップと走行範囲の確認が必要です。

laser-frame-finished.lzrproj
demo-projects内の任意のサンプル。デザインと設定のみ。

laser-frame-practice.lzrproj
demo-projects内の任意のサンプル。デザインと設定のみ。

laser-frame-start.lzrproj
demo-projects内の任意のサンプル。デザインと設定のみ。

任意のdemo-projectsには、サンプルの配置アートワークが残されています。発射フレームを再現するよう求めるものではありません。実際に使用する場合は、目の保護具、監視、ピント、換気、走行範囲の確保が必要です。

該当する場合、デモで示されたBeam Bench 0.2.37のコントロールと、修正された終了状態に対応しています。後のパネルレイアウトは異なる場合があります。